

芝山町芝山地区

いにしえ
古に思いを馳せて巡ろう

門前町芝山 散策マップ



周辺施設ガイド

①芝山仁王尊・観音教寺



正式には天応山観音教寺福聚院と号する。奈良時代の天応元年(781)に藤原継縄により創建された天台宗の古刹。本堂は、享保6年(1721)の建立で、本尊の十一面観世音菩薩を安置している。中世には千葉氏の祈願寺、近世には火事・泥棒除けの祈願寺として庶民の信仰を集めた。

②観音教寺三重塔【千葉県指定有形文化財】

方三間、総檜造、銅板平葺きの層塔で、高さは25メートル。柱はすべて円柱、正面1間は両開きの棧唐戸(框を縦横に組んで、間に板をつける)となっている。建築年代は、擬宝珠の文政9年(1826)の銘から、この頃に建てられたと考えられる。



③観音教寺仁王門



明治2年(1869)に起工し、明治15年に完成した総檜造り、お堂形式の門。仁王尊像は、畳の敷かれた堂内内陣須弥壇の上に安置されている。堂内には江戸(東京)の火消し衆による千社札や奉納額などが多くみられる。

④仁王尊像【芝山町指定有形文化財】

嘉慶2年(1388)の造立で、阿形と吽形の2軀からなる。像高は、阿形は177センチ、吽形は183センチで檜の寄木造りである。江戸時代に仁王信仰が広まり、火事泥棒除けの仁王様として江戸火消し衆の信仰を集めた。



⑤芝山はにわ博物館



観音教寺本堂に隣接。1階に昭和31年の殿塚・姫塚古墳の発掘調査で出土した県指定文化財の埴輪9点を含む周辺地域で出土した埴輪などを展示。2階に画家岩崎巴人画伯による「釈尊御一代絵伝」25点を展示。

○芝山古墳群(殿塚・姫塚)出土埴輪【千葉県指定有形文化財】

昭和31年(1956)、殿塚・姫塚(芝山古墳群)の発掘調査により、多量の人物や動物などの形象埴輪が列をなして出土した。特に姫塚古墳で出土した埴輪は、葬列の埴輪として注目された。姫塚出土の人物埴輪や馬形埴輪の計9点が千葉県指定有形文化財となっている。



○朗海上人の板碑【芝山町指定有形文化財】

五輪塔を線刻した高さ162センチ・幅82センチの板碑である。銘文により元弘3年(1333)に、朗海上人の追善供養をするために弟子たちが建てたものであることがわかる。朗海上人は、金沢称名寺(横浜市)や龍角寺(栄町)と関わりのあった学僧で、この板碑は殿部田地区の西福寺に建てられていた。

○鮭の埴輪【芝山町指定有形文化財】

昭和39年(1964)に大里地区白樹で出土。高さ29.3センチ、長さ25.7センチ。魚形の埴輪で、鮭をかたどったものと考えられる。



⑥芝山仁王尊門前と旅籠



芝山仁王尊には、境内東側と仁王門前の参道に旅籠や商店が並んでいた。明治26年(1893)の絵図には東参道に7軒、仁王門前に2軒の旅籠が描かれている。また、菓子屋・力せんべい・飴屋・醤油屋・味噌屋・米屋・酒屋などの商店も並んでいた。

⑦旧笹喜旅籠

木造二階建て(寄棟・棧瓦葺)。一階は間口七間、奥行四間。ガラス戸九枚の店構えで、内部は土間の奥に板敷き大広間と料理場がある。二階の間取りは、襖仕切りの6畳・8畳・6畳の3部屋である。一階の離れは現存していない。



⑧旧藤屋旅館



木造二階建て(切妻・トタン平葺)で、間口七間、奥行四間の母屋は現存していないが、一階は土間、帳場、料理場、納戸、居室、二階には10畳2部屋、6畳2部屋があった。大正6年(1917)に増築された離れ座敷とその玄関、庭の一部が残されている。

⑨旧西村旅館

木造二階建て(入母屋・棧瓦風新建材葺)。一階は間口五間半、奥行四間半。北側と西側にそれぞれガラス戸4枚(各二間)の店構えである。



⑩芝山公園と芝山はにわ祭



15万㎡の広さがある緑に囲まれた公園で、ミニアスレチック、野球場、休憩施設、埴輪のモニュメントなどがある。はにわ祭は、成田空港建設をめぐる芝山町内が対立していた頃、再び町民が心をつづするためはじめられた祭。古代衣装を着た古代人が、殿塚・姫塚、観音教寺、芝山公園で儀式や行列を行う。毎年11月の第2日曜日に開催されている。

⑪復元古墳

芝山公園の入り口付近にあり、殿塚古墳を1/3にした復元古墳で、姫塚古墳出土埴輪のレプリカも並ぶ。



⑫旧藪家住宅【千葉県指定有形文化財】



山武市板川に建てられていた江戸時代中期(17世紀末から18世紀初め)の住宅で、平成元年に芝山公園に移築された。藪家は、江戸時代に代々名主を勤めていた。建物は、間口10間、奥行4間半の茅葺寄棟造である。5室で構成される間取りは、土間から入って17畳半の「チャノマ」、10畳の「ザシキ」、奥は床の間を設けた「オクノマ」、裏手は、「ナンド」「ダイドコ口」となっている。

山芝地区
山芝地区
山芝地区

山芝町前門 散歩マップ

池

-  芝山公園
-  あずまや
-  案内板
-  駐車場
-  トイレ
-  遊歩道

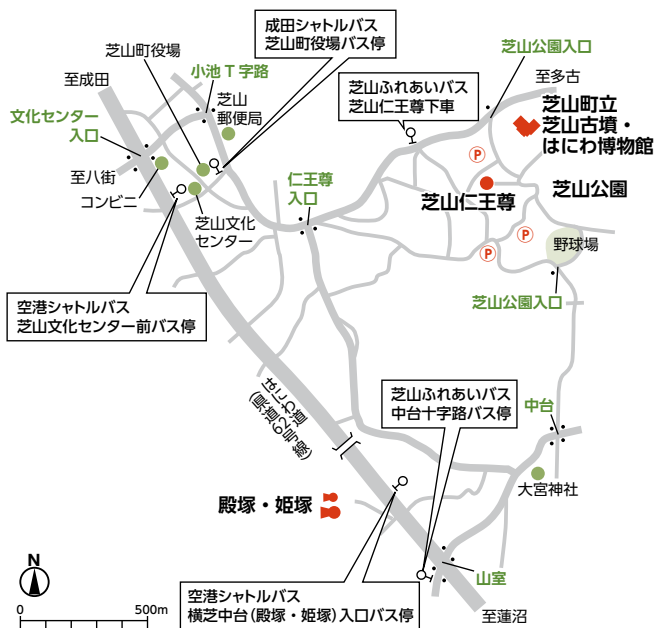
芝山地区とは

芝山仁王尊・観音教寺は、江戸時代に火事・泥棒除けの仁王様として庶民の信仰を集め、門前には旅籠や商店も並んでいた。その門前の地区は、江戸時代は武射郡芝山村で旗本領、明治元年に観音教寺に柴山藩の仮藩庁が置かれ、昭和30年に誕生した芝山町の町名の由来となった。成田国際空港開港後は、騒音移転の対象となり、保存された3軒の旅籠がその面影を伝えている。現在は、公園や博物館などによる観光拠点の一角となっている。

周辺案内図

■空港第2ターミナル

空港シャトルバス乗車 13番バス停
横芝屋形海岸行き



殿塚・姫塚【国指定史跡】

横芝光町中台に所在し、17基で構成される芝山古墳群(中台古墳群)の中心的な古墳。

昭和31年に観音教寺が主導して、早稲田大学考古学研究室が発掘調査を行った。造形美あふれる人物埴輪や動物埴輪が列をなして出土した。殿塚は全長88m、高さ7.8mで、姫塚は、全長58.5m、高さ4.8m、ともに6世紀の前方後円墳。



芝山地区への交通案内

電車・バス

●芝山鉄道「芝山千代田駅」から芝山ふれあいバスにて24分
「芝山仁王尊」バス停下車

●JR総武本線「松尾駅」から芝山ふれあいバスにて20分
「芝山仁王尊」バス停下車

*芝山ふれあいバスは、日曜日、年末年始は運休となります。

自動車

●東関東自動車「成田IC」から約30分

●圏中道「松尾横芝IC」より約10分

発行 芝山町立芝山古墳・はにわ博物館

〒289-1619 千葉県山武郡芝山町芝山438-1 ☎0479-77-1828

令和2年3月